



2012～2013年度国際ロータリーテーマ／奉仕を通じて平和を

山形中央ロータリークラブ クラブ会報 CLUB NEWS

WEEKLY REPORT YAMAGATA CENTRAL



国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「20年を祝し、次の10年へ」

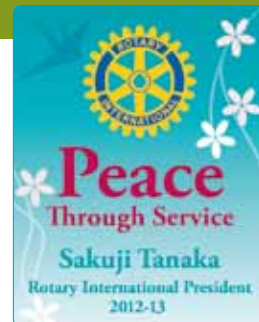


〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL (023) 632-7777 FAX (023) 624-5200

例会 毎週火曜日 12:30～13:30 (但し第5週は18:30～) 会場 ホテルメトロポリタン山形

- | | | |
|-----------------|--------------|------------------------------|
| ■ 会長 鹿野 淳一 | ■ 職業奉仕 遠藤 隆一 | ■ 副幹事 江目 祐一 |
| ■ 会長エレクト 板垣 喜代志 | ■ 社会奉仕 長橋 正人 | ■ 会計 小林 敏郎 |
| ■ 副会長 三浦 龍夫 | ■ 新世代奉仕 安部 敏 | ■ S A A 佐藤 吉信 |
| ■ 直前会長 安藤 英男 | ■ 国際奉仕 斉藤 眞 | 国際ロータリー会長 田中 作次 (八潮RC) |
| ■ クラブ管理運営 金子 将人 | ■ 幹事 伊藤 和子 | 第2800地区ガバナー 和田 廣 (南陽東RC) |
| | | 第5ブロックガバナー補佐 千歳 徹 (山形イコングRC) |

◆日時／2013.5.28 18:30 ◆例会場／ヤマコーボウル・かかし



スポーツ例会

ボウリング大会



本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	17名	—
修正出席	40名	40名	32名	80.0%
他クラブで メイクアップ された会員	(イブニング) 金子昌弘 (山形西) 武田耕一 (山形南) 佐藤吉信 武田耕一 (山形北) 金子昌弘			



▶ 近隣クラブ例会案内

月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
山形西	大沼デパート	山形南	ホテルキャッスル	山形	山形グランドホテル	山形北	山形グランドホテル	山形東	ホテルキャッスル
中山	料亭むらくま	山辺	料亭さつき	かみのやま	月岡ホテル	寒河江	グランドール寒河江	天童	瀧の湯ホテル
天童西	ホテル王将	寒河江さくらんぼ	ホテルシンフォニー	天童東	天童ホテル				
山形イブニング	パレスグランドール								

※ 欠席したらメイクアップ、メイクアップしたら出席委員長までご連絡下さい。



2012~2013年度国際ロータリーテーマ／奉仕を通じて平和を

山形中央ロータリークラブ クラブ会報 CLUB NEWS

WEEKLY REPORT YAMAGATA CENTRAL



国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「20年を祝し、次の10年へ」



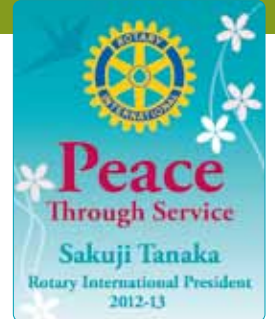
〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社事務所ビル2F TEL (023) 632-7777 FAX (023) 624-5200

例会 毎週火曜日12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形

- 会長 鹿野 淳一
- 会長エレクト 板垣喜代志
- 副会長 三浦龍夫
- 直前会長 安藤英男
- クラブ管理運営 金子将人
- 職業奉仕 遠藤隆一
- 社会奉仕 長橋正人
- 新世代奉仕 安部敏
- 国際奉仕 斉藤真
- 幹事 伊藤和子
- 副幹事 江目祐一
- 会計 小林敏郎
- S A A 佐藤吉信

国際ロータリー会長 田中作次(八潮RC)
第2800地区ガバナー 和田廣(南陽東RC)
第5ブロックガバナー補佐 千歳徹(山形ヴェンチRC)

◆日時/2013.6.4 12:30 ◆例会場/ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング/君が代・奉仕の理想



会長挨拶



6月を迎え私の任期も後一月となりました。やっとゴールが見えてきた気がいたします。何とか無事に終える事が出来るのではないかと少し気が楽になってきました。会員各位のご協力に感謝申し上げますと共に、後一カ月宜しく願いいたします。

さて、関東まで例年より早い梅雨入りとなったようです。新緑のさわやかな季節が巡ってきたと思ったらもう梅雨の季節が目前に迫っています。寒い冬から春、夏とわずが3カ月ほどで亜熱帯のような気候に変化する風土ですから体調管理には十分に気を付けてください。

さて、東日本大震災以来生態系に様々な問題があり野生の動物が増えているとのこと。私の町内でも以前は見ること

の無かった猿が出没するようになったと農家の方が話していました。また、湯の浜にクマが出たということで報道されていましたが月山山系とも鳥海山系とも孤立した湯の浜にまで野生のクマが出るというのには驚きました。環境の変化は私たちが気づかないうちにどんどん変わっていくのだと改めて感じたところです。

さて、今日は御殿堰開発のお話を七日町御殿堰開発株式会社代表取締役の結城 康三にお話をいただきます。御殿堰も環境整備が良くなり梅花藻も生息できるようになったそうです。そんな中、街の中心部を流れる御殿堰を上手に活用して活性化を図っている話をお聞きできると思いますのでよろしく願いいたします。

ニッコニコ情報

鹿野淳一・伊藤和子/先週のスポーツ例会では、沢山の景品をご協力頂きまして誠にありがとうございました。また、本日の卓話、結城様のお話に感謝申し上げます。

坂川好則/結城社長、卓話ありがとうございました。さて、今年のメトロのサマーピアノはアニメソングの帝王「水木一郎」です。マジンガーZなど一曲目からノリノリですヨ!

小泉俊哉/結城社長、本日は有難うございました。

佐竹純一/先日は母の葬儀に際し、たくさんの方から参列いただき大変ありがとうございました。無事葬儀も済み、これからまたロータリー活動を一生懸命やりたいと思います。

6月 会員誕生・創立企業日



誕生日 白田友二 6.8 長谷川淳 6.19
企業創立記念日 江目祐一 S36.6.1

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	27名	—
修正出席	40名	40名	30名	75.0%
他クラブで メイクアップ された会員	(山形南) 武田耕一 (山形東) 長谷川淳 武田耕一 佐藤吉信			



ゲスト卓話 「御殿堰開発のお話」

七日町御殿堰開発(株)
代表取締役 結城 康三氏

「水の町屋 七日町御殿堰」はおかげさまで四月で三周年を迎えました。昨年十月に最後まで空いていた二階のスペースに仙台の鯨動さんが入居して全て埋まり、業績は順調に推移しています。

私どもの会社は「七日町御殿堰開発株式会社」言いますが、TMOや第三セクターではなく、民間の出資によって設立された会社です。七日町以外の出資者が多く、市民の七日町に対する思いが設立したと言っても過言ではありません。

開発は、保険会社の土地建物を買収するところから始まりましてので着工までに三年かかりましたが、山形市の中心市街地活性化基本計画に載せる事ができたために比較的スムーズに行われました。

今までの再開発と言いますと、アズやイーナスのような鉄筋の高層ビルを造ったりするのが普通ですが、私どもの建物は木造二階建てです。何故このような開発を行ったのかと言いますと、私どもの開始は、民間会社ではありますが、株主の意向もあり、七日町の活性化という使命を負っています。会社の最大利益の前に、如何に街を活性化させるかという目的の上で考えた開発の結果です。

七日町を始め全国の商店街は昭和30年代から40年代が最も隆盛でした。40年代には中央の大手流通業者が進出してきましたが、現在それらの多くは郊外に移り、中心商店街VS郊外店という構図が生み出されています。

中心商店街と郊外店は異質なものとして捉えられる場合が多いのですが、実はどちらも同じ戦略によって成り立っています。それは、

- ①「快適な買い物空間を創ること」
- ②「効率の良い商売をする空間を創ること」

と言う二つの戦略です。

モータリゼーションの今日、それらの戦略を達成しやすいのはどちらか。それは誰の目にも明らかです。必要な土地を確保し易いのはどちらか。そしてそのコストは。現在、消費者にとって快適な要素の一つである車の運用をし易いのはどちらか。駐車場を確保し易いのはどちらか。そしてそのコストは。

それらを考えるとき、郊外店が絶対有利という結論が引き出されます。この結論は間違いないもので、現状を正確に把握しなければ対策は講じられないのですが、全国の商店街にはこの視点が欠けています。

商業集積を創る上で郊外が有利なのであれば中心街は不要、との意見もありますが、中心市街地の活性化は商店街のためではありません。

「やる気のない商店街を何故税金で助けなければ成らないのか」

の声も聞こえます。私もその通りだと思います。

中心市街地の活性化は内閣府が重要施策として取り組んでいます。その目的と言うのは、次のようなものではっきりしています。

人口が減少する中でこのまま市街地が郊外に広がり拡大すれば、社会資本整備の過重が地方公共団体の財政を圧迫して破綻してしまうという懸念です。また、人口希薄による治安の悪化、都市の破壊なども懸念されています。

中心商店街が郊外店に「絶対勝てない」とは言え、この言葉には「従来の同じ戦略で戦えば」という枕詞が付いています。つまり、中心商店街がすべきことは、郊外店にはできない戦略に変更することです。

では、どのような戦略に変更したらよいのか。まだその正解は出ていませんが、心ある商店街はそれぞれに模索しております。

私どもが考える戦略は、「街づくり」であります。「街づくり」という言葉は大変耳障りが良く中心市街地の活性化を考える際に使われる言葉です。しかし、それらのほとんどは私の尺度で言えば「街づくり」ではなく「商店街づくり」の意味で使われています。アーケードを建て替える、空きビルにテナントを誘致するといった施策は、「街づくり」ではなく「商店街づくり」と言えます。

「街」と言うのは様々な機能がモザイクのように絡み合い、相互に連関しています。「商店街という街」は商業集積だけではなく劇場、病院、スポーツ施設、役所他様々な施設の利用者が連関して面白さを創っているのです。

そのような街が破壊されたために中心市街地の空洞化が起こっている訳です。

ではどのような街を創るのか言えば、商店街と言う街です。商店街と言う街は人が集まる街です。ではどのようにして人が集まる街を創るのか、私は次のような「人の集まる法則」があると思っています。

- ①「創ったものに人は集まらない」
- ②「あるものに人は集まる」

京都には人が集まります。それは何故か。京都は「あるもの」で溢れています。金閣寺、銀閣寺、清水寺などは言うに及ばず、街を歩けば町屋があり、人々の生活風習そのものが訪れる者に「あるもの」と感じさせてくれます。

モニュメントや奇抜な建物で人を集められるのは一時で決して街の活性化には役に立ちません。

御殿堰には御殿堰という四百年流れている「あるもの」、明治大正時代の蔵という「あるもの」。そしてそれらに溶け込むようにデザインされた母屋が「創ったもの」であるにも係らず観光客の目には「あるもの」と移っています。

私どもが行った開発は、街づくりと言うものの、まだ点にしか過ぎません。今後、開発を東西に延伸し本当の街づくりをしなければならぬと思います。専称寺からお城までつなぐことができれば山形の本当の活性化になるのではないかと思います。それには100年かかるかもしれませんが、市民のご理解とご協力が是非とも必要です。

近隣クラブ例会案内

月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
山形西	大沼デパート	山形南	ホテルキャッスル	山形	山形グランドホテル	山形北	山形グランドホテル	山形東	ホテルキャッスル
中山	料亭むらくら	山辺	料亭さつき	かみのやま	月岡ホテル	寒河江	グランデール寒河江	天童	瀧の湯ホテル
天童西	ホテル王将	寒河江さくらんぼ	ホテルシフォニー	天童東	天童ホテル				
山形イブニング	パルスグランドール								

※ 欠席したらメイクアップ、メイクアップしたら出席委員長までご連絡下さい。